



昆虫をニワトリのエサに使う

アメリカミズアブという昆虫の幼虫は、いろいろな食品製造副産物を食べて成長できます。育った幼虫は動物性タンパク質源として水畜産業の飼料に、食べ終わった残さは肥料に利用する研究を進めています。

アメリカミズアブとは？

成虫で体長2 cmくらいの双翅目昆虫です。名称に「アブ」が入っていますが、咬んだり刺したりしないので、人畜無害と言われています。幼虫は野菜くずなどで育てることができて、ニワトリや魚の飼料にすることができます。

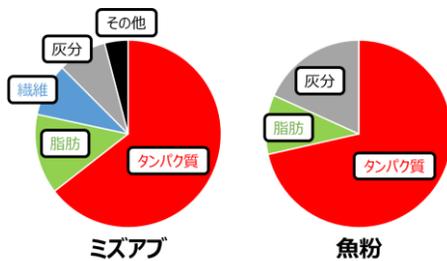


↑育った幼虫

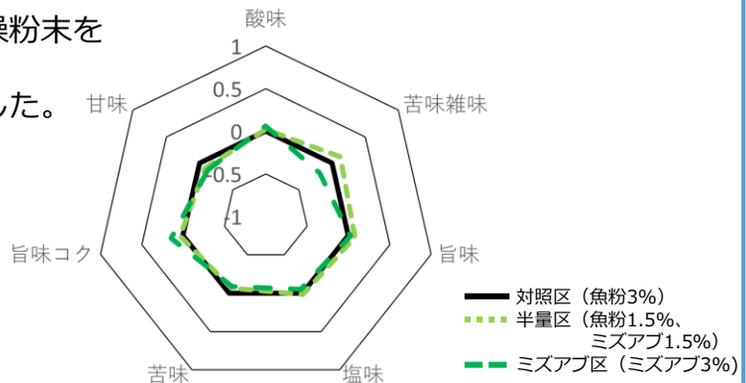
幼虫を養鶏飼料に使ってみました

環農水研では、野菜や果物などをエサにしてアメリカミズアブを育てて、育った幼虫を採卵鶏の飼料に使う、という研究を実施しました。

研究の結果、アメリカミズアブの脱脂乾燥粉末を魚粉の代わりに与えると、卵が重くなり、味は変わらない、ということがわかりました。



↑幼虫と魚粉の成分比較



↑味覚センサーの分析結果 (黄身)

養鶏飼料でのアメリカミズアブ利用技術に興味がある方は、食品グループまでご相談ください。

・環農水研の加工機器や分析機器を用いた試作や試験研究などをご依頼いただけます。

詳細は、右記の環農水研ホームページをご覧ください。

・お問合せは、食と農の研究部 **食品グループ (072-979-7063)** まで。

<技術支援制度詳細>

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/nourin/shien/openlabo/>



環境農林水産総合研究所 技術支援制度

検索